

資料 1-1 入試制度別の志願者数、合格者数、入学者数の推移

推薦	H25	H26	H27	H28	H29
志願者数	35	26	27	26	31
合格者数	12	12	12	12	12
入学者数	12	12	12	12	12
前期	H25	H26	H27	H28	H29
志願者数	219	245	249	271	238
合格者数	95	94	93	93	93
入学者数	93	93	93	91	91
後期	H25	H26	H27	H28	H29
志願者数	52	41	65	78	60
合格者数	5	5	5	5	5
入学者数	5	5	5	5	5
3年次編入学	H25	H26	H27	H28	H29
志願者数	127	126	133	122	96
合格者数	5	6	6	5	6
入学者数	4	6	6	5	6

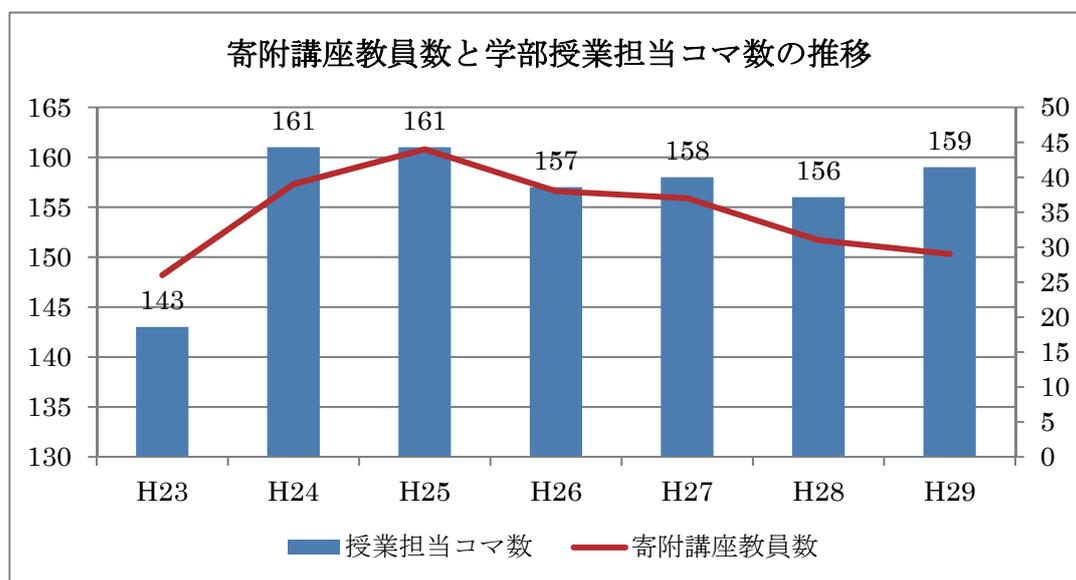
資料 1-2 入試制度別の出身県分布（平成 29 年度在学生調査）

	在学生数(人)	東海4県(%)	愛知県(%)
一般入試入学(前期+後期)	588	76.2	61.2
推薦入試入学	73	63.0	30.1
編入学	22	18.2	9.0

資料 1-5 臨床教授付与状況

	教授	准教授	講師	合計
平成 23 年度	56	80	252	388
平成 24 年度	53	79	244	376
平成 25 年度	59	78	237	374
平成 26 年度	54	88	247	389
平成 27 年度	55	91	253	399
平成 28 年度	70	98	271	439
平成 29 年度	72	100	275	447

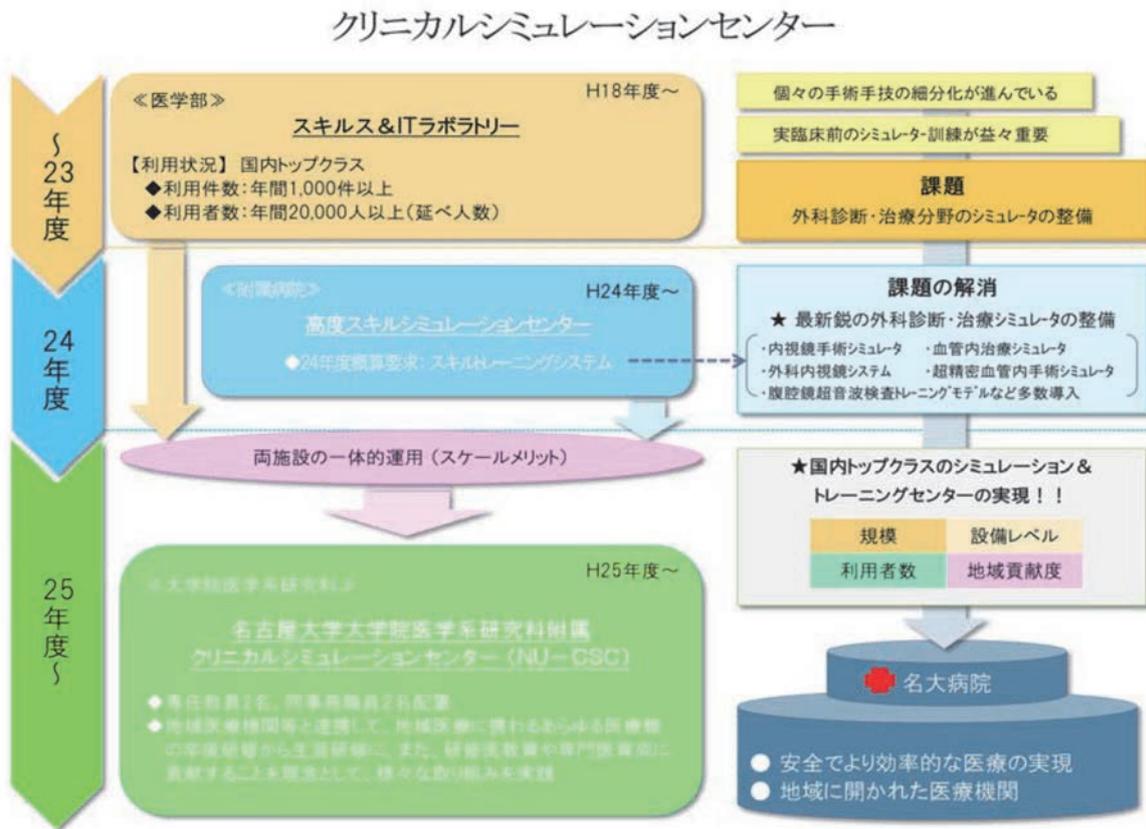
資料 1-6 寄附講座教員数と学部授業担当コマ数の推移について



資料 1-7 教員 FD (医学教育ワークショップ) 実施実績

通算回数	開催年度	対象	出席者数	タスクフォース
17	2004	全教員	17	3
18	2004	全教員	19	3
19	2005	全教員	18	2
20	2005	全教員	20	4
21	2006	全教員	22	2
22	2007	全教員	45	2
23	2008	全教員	23	3
24	2008	全教員	20	3
25	2008	全教員	19	3
26	2009	全教員	17	4
27	2009	全教員	9	4
28	2009	全教員	10	3
29	2010	全教員	26	3
30	2010	全教員	9	3
31	2010	全教員	20	2
32	2011	全教員	28	4
33	2011	全教員	14	4
34	2011	大雪のため中止		
35	2012	全教員	28	4
36	2012	全教員	15	4
37	2012	全教員	20	4
38	2013	全教員	19	3
39	2013	全教員	12	2
40	2013	全教員	14	3
41	2014	全教員	22	3
42	2014	全教員	16	3
43	2014	全教員	13	2
44	2015	全教員	22	3
45	2015	全教員	17	3
46	2015	全教員	9	1
47	2016	全教員	15	3
48	2016	全教員	22	3
49	2016	全教員	22	3
50	2017	全教員	19	3
51	2017	全教員	14	3
52	2017	全教員	16	3
のべ参加者数			597	

資料 1-8 名古屋大学大学院医学系研究科附属クリニカルシミュレーションセンター



資料 1-9 医学科カリキュラム概要

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
全学教育科目 (講義・実習・演習)	基礎医学 (講義・実習)	基礎医学セミナー	社会医学(講義・実習)	臨床医学 (チュートリアル・講義・ 基本的臨床技能実習)	臨床実習
医学入門					
					選択実習
					卒業試験

自己点検評価報告書

資料 1-10 平成 30 年度 特別講義グループ編成

A グループ		総括責任者	
平成 30 年 12 月 17 日(月) 1～4 限、12 月 18 日(火) 1 限			
科目名	心臓移植と人工臓器	心臓外科	碓氷 章彦
	Review of Cardiology and Nephrology in English	国際医学教育学・国際連携室	粕谷 英樹
	臓器移植医療	移植外科	小倉 靖弘
	頭頸部外科最前線	形成外科	亀井 譲
B グループ		総括責任者	
平成 30 年 12 月 18 日(火) 2～4 限、12 月 19 日(水) 1～2 限			
科目名	地域における I P E ※1	地域医療教育学講座	岡崎 研太郎
	痛み治療の進歩	麻酔・蘇生医学	西脇 公俊
	多臓器不全の管理ポイント	救急・集中治療医学	松田 直之
	認知症の今とこれから	神経内科	勝野 雅央
C グループ		総括責任者	
平成 30 年 12 月 19 日(水) 3～4 限、12 月 20 日(木) 1～3 限			
科目名	基本的臨床能力としての教育技法入門	総合診療科	佐藤 寿一
	消化器外科入門	消化器外科	小寺 泰弘
	女性をめぐる医療の発展と課題	産婦人科学	吉川 史隆
	がんを知る、がんを治す(臨床腫瘍学入門)	化学療法部	安藤 雄一
D グループ		総括責任者	
平成 30 年 12 月 20 日(木) 4 限、平成 31 年 1 月 10 日(木) 3～4 限、1 月 16 日(水) 1～2 限			
科目名	脳科学の近未来：失われてゆく機能の再生医療最新情報	脳神経外科学	若林 俊彦
	周術期全身管理の最前線	麻酔・蘇生医学	西脇 公俊
	やさしい水・電解質・酸塩基平衡異常	腎臓内科学	丸山 彰一
	感染症と感染対策を取り巻く新しい動き	臨床感染統御学	八木 哲也
E グループ		総括責任者	
平成 31 年 1 月 16 日(水) 3～4 限、1 月 17 日(木) 4 限、1 月 18 日(金) 1～2 限			
科目名	総合診療専門医とは	総合診療科	佐藤 寿一
	てんかん診療の基礎と最前線	障害児(者)医療学寄附講座	夏目 淳
	生活習慣病	糖尿病・内分泌内科	有馬 寛
	医学部生の国際的視野の開発	国際医学教育学・国際連携室	粕谷 英樹
F グループ		総括責任者	
平成 31 年 1 月 18 日(金) 3～4 限、1 月 21 日(月) 3～4 限、1 月 22 日(火) 1 限			
科目名	今後求められる医師のキャリアとしての在宅医療とその実際	地域在宅医療学・老年科学	葛谷 雅文
	造血器腫瘍学－最新の診断と治療	血液・腫瘍内科	清井 仁
	脳卒中(Brain attack)	神経内科	勝野 雅央
G グループ		総括責任者	
平成 31 年 1 月 22 日(火) 2～4 限、1 月 23 日(水) 1～2 限			
科目名	死の教育	地域医療教育学講座	高橋 徳幸
	眼科最新知識	眼科学	寺崎 浩子
	臨床試験：明日の医療を変えるために	神経内科	勝野 雅央
H グループ		総括責任者	
平成 31 年 1 月 23 日(水) 3～4 限、1 月 24 日(木) 3～4 限、1 月 25 日(金) 1 限			
科目名	障害児(者)医療の実際・障害児(者)を支える医療	障害児(者)医療学寄附講座	夏目 淳
	循環器領域の先進医療	循環器内科学	室原 豊明
	救急疾患における画像診断	放射線医学	長縄 慎二
I グループ		総括責任者	
平成 31 年 1 月 25 日(金) 2～4 限、1 月 28 日(月) 3～4 限			
科目名	漢方医学	総合診療科	佐藤 寿一
	成育医療	小児科学	高橋 義行
	スポーツ傷害と整形外科	整形外科	西田 佳弘

注意：*1 の講義日程は、平成 30 年 12 月 18 日(火) 1 限～5 限にて行う。履修する時は注意すること。

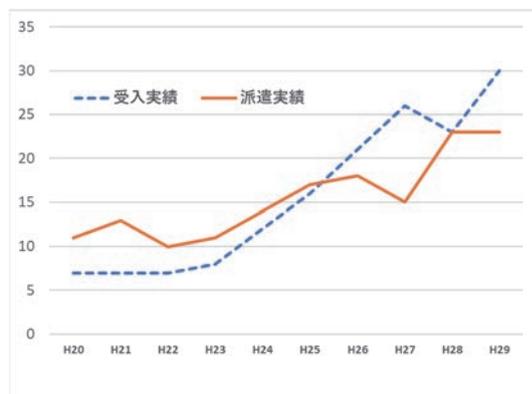
資料 1-11 海外協定校 年度別受入学生数

国名	年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
	校名	区分											
アメリカ合衆国	ノースカロライナ大学チャペルヒル校医学部	受入						1					1
	チューレン大学医学部	受入		2		1	3	5	5	6	6	4	32
	ジョンズホプキンス大学医学部	受入	1							4	4	4	13
ポーランド	グダニスク医科系大学医学部	受入			1			1		1		1	4
ドイツ	フライブルク大学	受入	1		1		1		1	2	1	3	10
オーストリア	ウィーン医科大学	受入	2	2	2		2	2	2	2	2	2	18
オーストラリア	アデレード大学	受入							3	5	2	5	15
	西オーストラリア大学	受入										1	1
イギリス	ウォーリック大学医学部	受入	3	1	1	1				1			7
中国	上海交通大学	受入			2	2	2	2	2	1	2	2	15
	北京大学	受入				2	2	2	2	2	2	2	14
	香港中文大学	受入									1	2	3
台湾	国立台湾大学	受入		2		2	2	2	4		2	2	16
韓国	ソウル大学付属病院	受入						1					1
スウェーデン	ルンド大学	受入							2	2	1	2	7

資料 1-12 海外協定校 年度別派遣学生数

国名	年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
	校名	区分											
アメリカ合衆国	ノースカロライナ大学チャペルヒル校医学部	派遣	2	2	2						1		7
	ハーバード大学医学部	派遣							1				1
	チューレン大学医学部	派遣			1	2	2	4	4	5	5	5	28
	ペンシルベニア大学医学部	派遣	2	2	1	1		2	1		2	2	13
	ジョンズホプキンス大学医学部	派遣	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
ポーランド	デューク大学医学部	派遣	2		2	2	2	1	2	2	1	1	15
	グダニスク医科系大学医学部	派遣		1			2	2	1	2	2	2	12
ドイツ	フライブルク大学	派遣	1	2			2	1		1	2		9
オーストリア	ウィーン医科大学	派遣		2		1	2	2	2	2	2	2	15
オーストラリア	アデレード大学	派遣					1	1		1	1	3	7
	西オーストラリア大学	派遣										3	3
イギリス	ウォーリック大学医学部	派遣	2	2	2	2	1	2	1				12
中国	上海交通大学	派遣				1						1	2
	香港中文大学	派遣										1	2
台湾	国立台湾大学	派遣							4		2		6
スウェーデン	ルンド大学	派遣									1	1	2

資料 1-13 海外協定校 受入・派遣実績推移



資料 1-14 分野別認証評価に対応するための平成 31 年度以降のカリキュラム改変

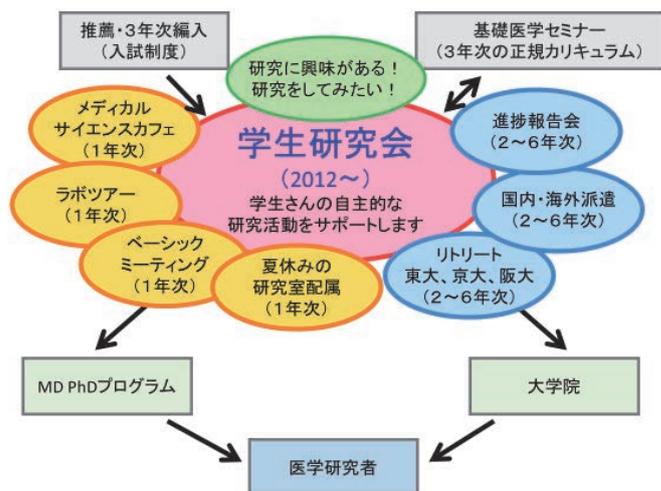
現行シラバス

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
全額教育科目 (講義・実習・演習)	基礎医学 (講義・実習)	基礎医学セミナー	社会医学(講義・実習)	臨床医学 (講義・チュートリアル・ 基本的臨床技能実習)	臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ I期 II期 III期	卒業試験
医学入門							

新シラバス

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
全額教育科目 (講義・実習・演習)	基礎医学 (講義・実習)	基礎医学セミナー	社会医学(講義・実習)	臨床医学 (講義・チュートリアル・ 基本的臨床技能実習)	臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ I期 II期 III期 IV期 V期 VI期	卒業試験
医学入門							

資料 1-15 学生研究会の活動



資料 1-16 学部学生の研究活動状況

1 年生向けイベントの参加者数 (H29)

イベント	開催数	参加者数
ラボツアー	2	57 人
メディカルサイエンスカフェ	7	22 人
研究室配属	1	18 人
ベーシクトレーニング	4	20 人
総計 (延べ数)	14	117 人

研究室に常時在籍し、研究活動を行っている学生数 (H29 年度末調査)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
人数	8名	17名	31名	22名	13名	8名	99名

英論文発表者数 (共著者含む)

	H24	H25	H26	H27	H28
論文筆者数 (延べ)	22名	27名	28名	36名	26名

リトリート参加学生数

	H25	H26	H27	H28
	(大阪)	(犬山)	(神戸)	(神戸)
名古屋大学	11名	13名	8名	5名
他大学を含む*	78名	87名	92名	65名

2017 年度 MD 研究者育成プログラム 全国リトリート 開催案内

日時：12月9日(土) 11:45~12月10日(日) 13:30

会場：フォーラム

Conbio2017 第6会場 (神戸ポートピアホテル 本館 B1F 北野)

リトリート

アリストンホテル神戸 (16F パルセロナ)

共同主幹：大阪大学・東京大学

プログラム：

12月9日(土)

-11:30 Conbio2017 参加証受取り

11:45-13:15 フォーラム企画

「次世代 MD scientist が世界で活躍するために為すべきこと」

(ConBio2017 第6会場・神戸ポートピアホテル本館地下1階「北野」)

13:15-17:30 ConBio2017 参加

17:30-18:00 アリストンホテル神戸 16F へ移動 (徒歩)

17:30-18:30 リトリート受付・ポスター貼付

18:30-20:20 開会挨拶・意見交換会 (夕食付)

20:20-20:30 集合写真撮影

20:30-21:00 チェックイン

21:00-22:00 FD 研修@小会議室 (学生は意見交換会@1F レストラン)

12月10日(日)

8:30-9:30 招待講演 水島 昇 先生 (東京大学)

9:30-11:30 ポスター発表

11:30-12:30 学生による口頭発表会 (4大学より1名ずつ)

12:30-12:45 表彰式及び閉会式

12:45- ポスター撤去、解散

資料 1-17 在学中英論文筆頭著者数（H20～H27 年入学者対象）

	学生数	筆頭著者数	筆頭著者数 (%)
前期+後期学生	582	13	2.2
推薦学生	70	4	5.7
編入学生	30	6	20

資料 1-18 地域医療学講座について

地域医療教育講座のミッション

21世紀の日本を支える、新たな地域医療システムの研究・開発・情報発信と、地域ニーズ指向型医療人の育成を目指します。



「発展 (Development)」 地域医療教育講座のミッションである「研究、社会活動、教育」の発展をイメージしています。緑色で「発達する新たな取り組み」、オレンジ色で「コミュニケーション」を表しました。

目指す医師像 (アウトカム)

- 大都市から人口過疎地や離島まで様々な生活様様を抱える愛知県の全住民が安心して暮らせるヘルスケアを提供できる医師となる。
- 将来においては愛知県での経験を生かして、あるべき地域の医療・介護・福祉を担う医師 (site-oriented health care provider: 置かれた状況に応じたケアの提供者) のロールモデルとなる。

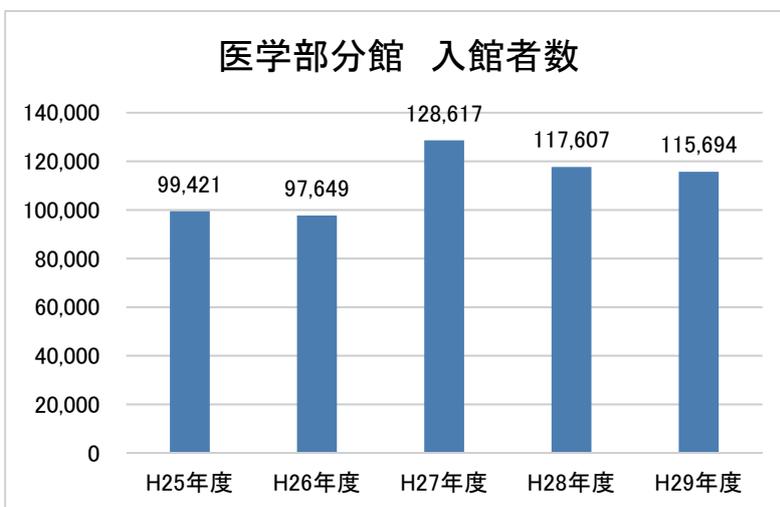
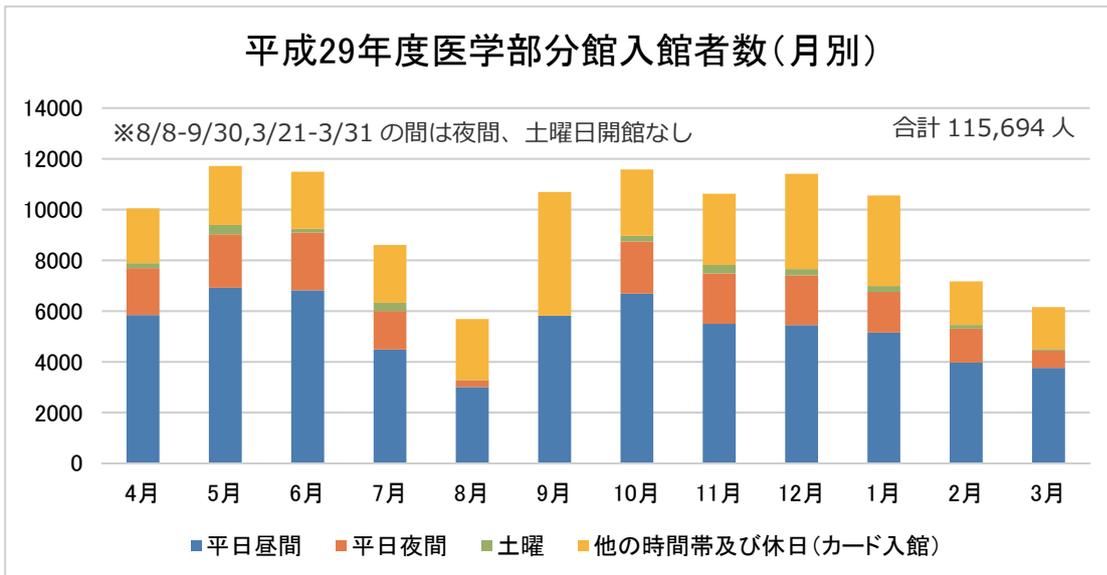
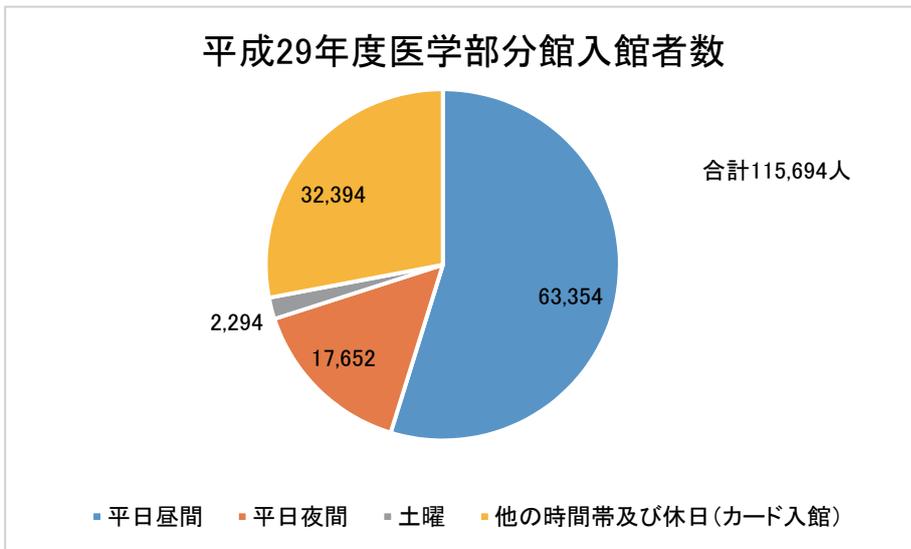
ミッション1【研究】	ミッション2【社会活動】	ミッション3【教育】
<p>地域の医療ニーズ調査・政策提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ●県内各地域の患者・住民側の医療ニーズを明らかにする ●県内各地域の医療側の特色・課題を明らかにする ●医療側と患者・住民側のニーズマッチと行政への政策提言 	<p>地域への啓発活動・相互理解の推進 Public Medical Communicator (PMC)の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●患者・家族～医療者間の相互理解を深める Public Medical Communicator (PMC)の育成 → 啓発活動、相互理解、負担軽減 → コミュニケーションの確立 ●地域全体で医療を支える気風(メディカルリターン)の醸成 ●地域生活医療圏における研修医教育支援 	<p>地域ニーズ指向型医療人の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●映像(シネマチュケーション)、TBL (Team-based learning) などによるプロフェッショナリズム(医の原点・心構えなど)の醸成 ●地域医療の考え方を推進する講義・実習 ●SP(模擬患者)養成とSPを用いた医療コミュニケーション教育 ●多職種連携教育 (Interprofessional Education: IPE)の実践

資料 1-19 地域医療セミナー（地域枠学生による地域病院見学発表会）



年間5回開催される地域枠学生を対象のセミナーです。将来の地域医療現場で役立つ情報を、学内外の著名講師や卒業生の先輩を招いての講演やワークショップを通じて学んでいます。毎年第1回目は、新入生歓迎の意味も込めて新4年生が主体となって企画をし、初期研修中の地域枠卒業生が研修内容を後輩に報告するのが恒例となっています。地域医療セミナーでは、「地域病院見学報告会」、「地域ニーズ指向型地域医療と多職種連携医療の実践」、「書いて描いて身につけよう！皆で前に進むためのファングラ講座」、「地域を元気にする高齢者演劇の試み」など、通常の講義では接することの少ない、幅広いテーマを取り上げています。

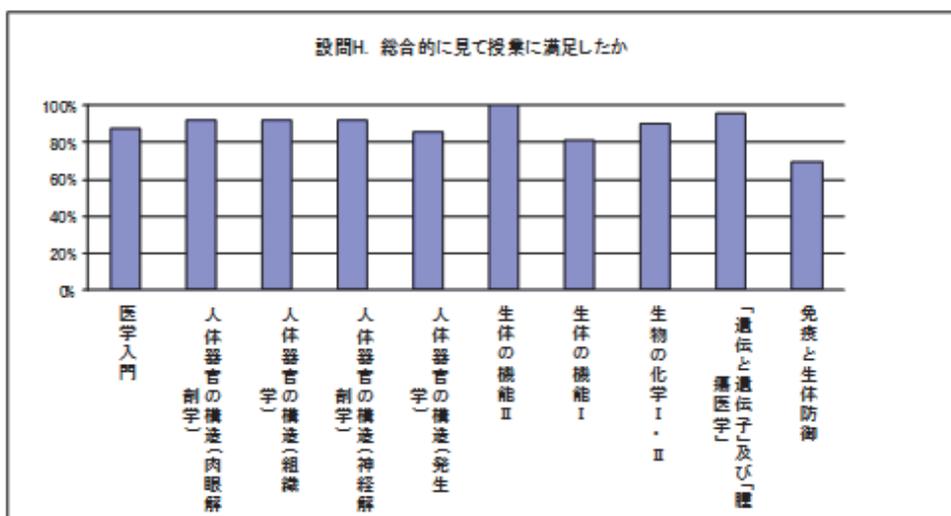
資料 1-20 附属図書館医学部分館 入館者数



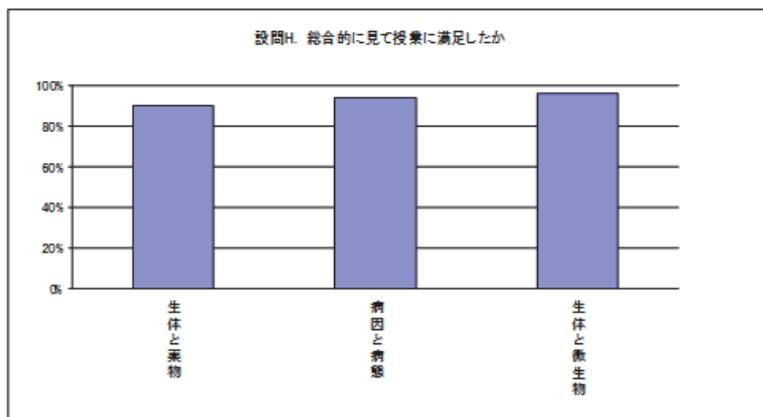
資料 1-21 医師国家試験の合格率（新卒のみ）

	H25	H26	H27	H28	H29
受験者数	101	108	107	111	112
合格者数	95	101	101	105	109
合格率	94.1%	93.5%	94.4%	94.6%	97.3%
参考：全国合格率	93.9%	94.5%	94.5%	91.8%	93.3%

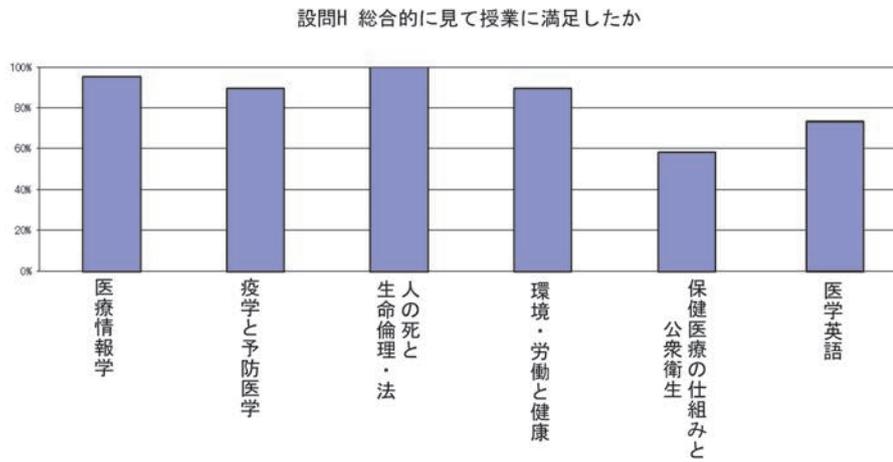
資料 1-22 授業アンケート（平成 26 年実施）
科目別講義アンケート結果（1・2年生分）



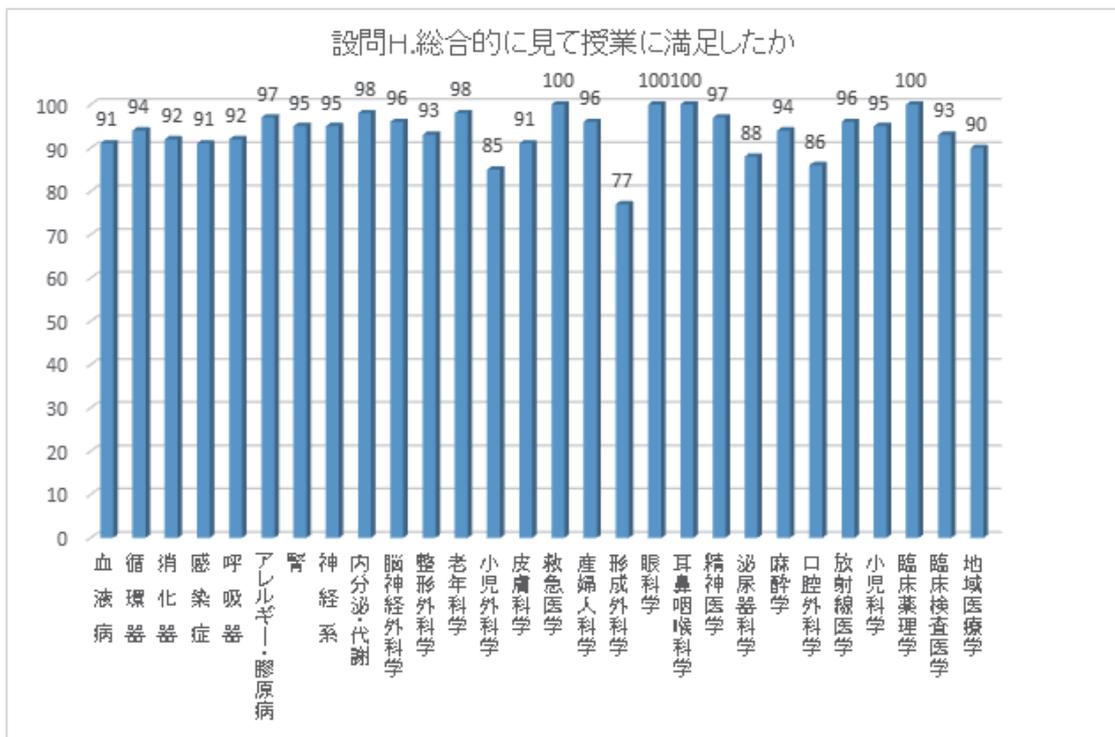
科目別講義アンケート結果（3年生分）



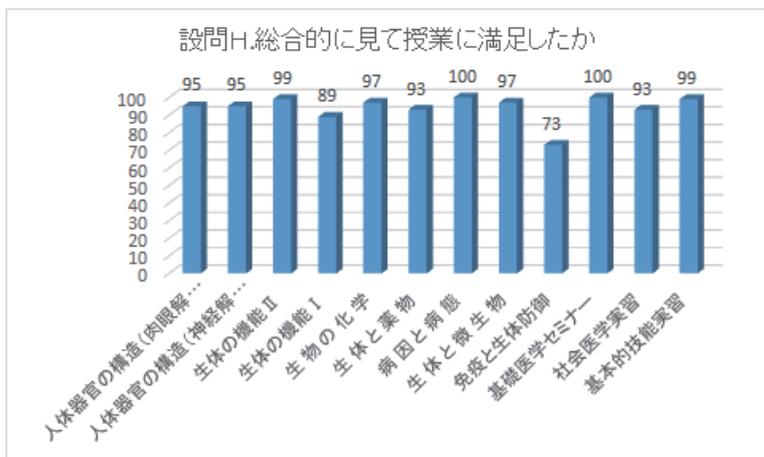
科目別講義アンケート結果（4年生分・社会医学系）



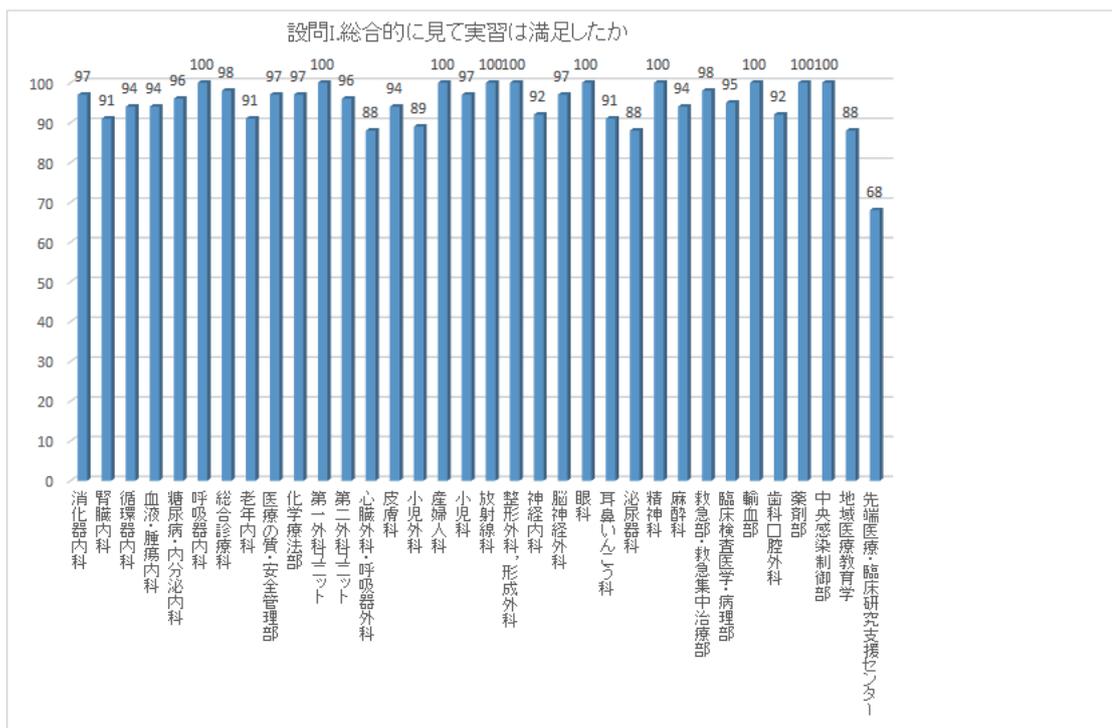
科目別講義アンケート結果（4年生分・臓器別臨床講義・臨床医学系）



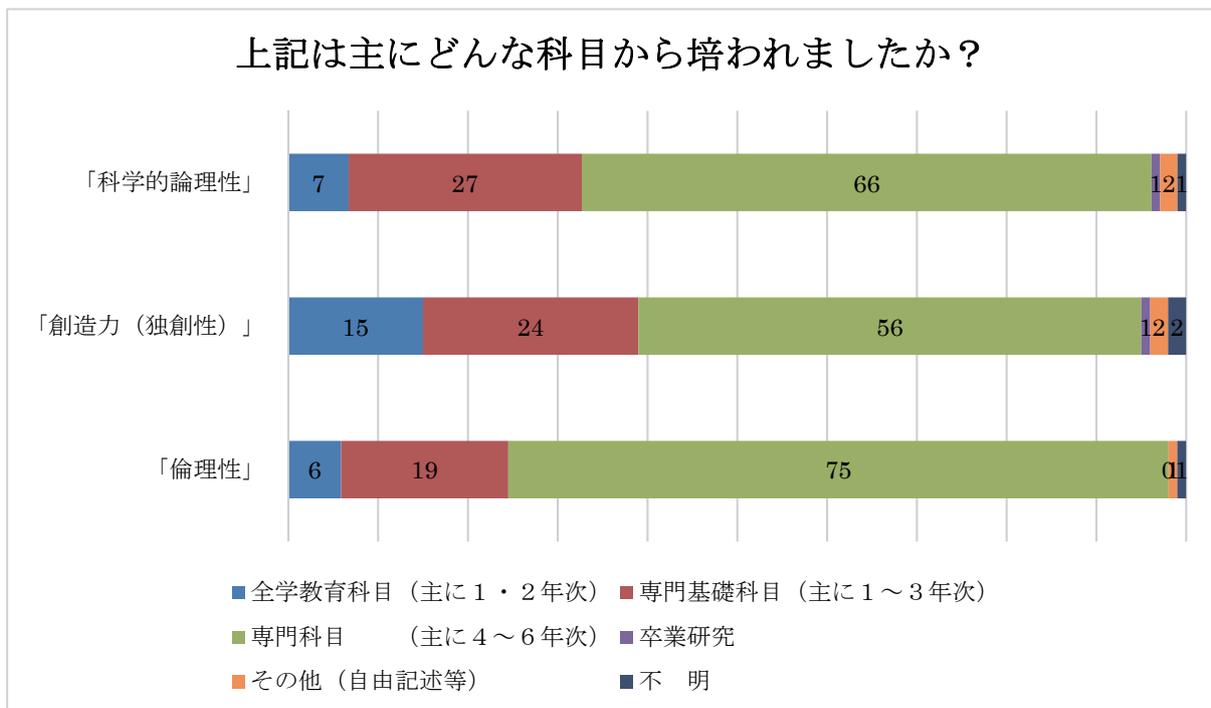
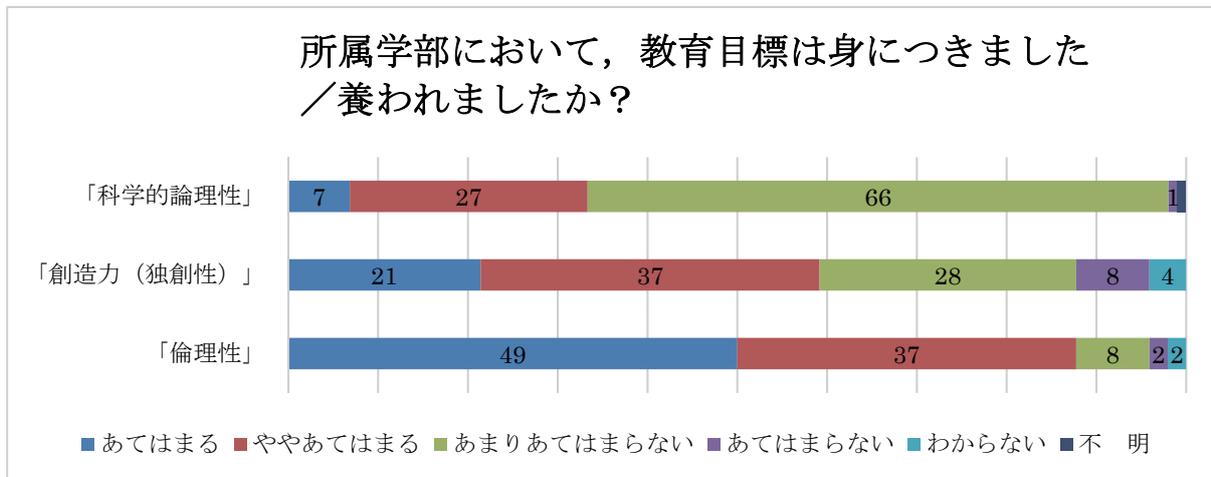
基礎・社会医学実習等アンケート結果



ポリクリアンケート結果



資料 1-23 学業の成果に関する卒業時学生アンケート結果 (平成 29 年度)



資料 1-24 医学科の卒業後の進路状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
卒業者数	96	106	105	101	108	107	111	112
卒業者のうち 就職	93	97	98	92	95	101	105	106
〃 進学	0	2	0	1	0	0	0	0
〃 その他(不明含む)	3	7	7	8	10	6	6	2

資料 1-25 就職先一覧（平成 29 年度）

		男	女	合計
1	大垣市民病院	3		3
2	東海中央病院	1		1
3	岐阜県立多治見病院	2		2
4	中津川市民病院		1	1
5	磐田市立総合病院	1		1
6	中東遠総合医療センター	1		1
7	市立四日市病院	2	1	3
8	一宮市立市民病院	2		2
9	千秋病院	1		1
10	春日井市民病院	1	1	2
11	江南厚生病院	1		1
12	小牧市民病院	3		3
13	公立陶生病院	5	3	8
14	津島市民病院	1		1
15	海南病院		1	1
16	公立西知多総合病院	1		1
17	半田市立半田病院	1		1
18	トヨタ記念病院	5		5
19	豊田厚生病院	1	2	3
20	刈谷豊田総合病院	3	1	4
21	安城更生病院	9	4	13
22	八千代病院	1		1
23	岡崎市民病院	2		2
24	豊橋市民病院	3	2	5
25	名古屋第二赤十字病院	3	1	4
26	名古屋記念病院		1	1
27	名古屋掖済会病院	1	1	2
28	名古屋第一赤十字病院	12	3	15
29	中部ろうさい病院	1		1
30	名鉄病院	2		2
31	中京病院	3		3
32	名古屋セントラル病院	1		1
33	名古屋医療センター		1	1
34	東京都立駒込病院		1	1
35	静岡県立総合病院		1	1
36	名古屋大学医学部附属病院	2	1	3
37	JCHO 東京新宿メディカルセンター	1		1
38	熊本赤十字病院	1		1
39	虎の門病院		1	1
40	福島県立医科大学附属病院		1	1
41	市立旭川病院	1		1
42	東京大学附属病院		1	1
43	大和市立病院	1		1
44	IHI	1		1
45	筑波大学附属病院	1		1
	合計	81	29	110

資料 1-26 関連病院/プライマリケア実習評価

